

## ハイエース モデリスタ バージョン I

## フロントスポイラー(デイライト) 取付要領書

設定型式: TRH20##、KDH20##、GDH20## 設定グレード: パン・標準ボディ

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

## 取り付け上の注意事項

- 重要** ■本製品はDC12V車専用です。DC24V車等、指定の電圧以外では絶対に使用しないで下さい。  
■取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。  
■エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。  
■車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行って下さい。  
■本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 重要** ■取り付け作業はバッテリーのマイナス端子を外してから行って下さい。また、作業終了後は各システムの設定・確認を行って下さい。(車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定/作業」を参照)
- 重要** ■コードの配線には十分注意して下さい。誤った配線をしますと故障の原因となります。  
■コードを引っ張ったり、重ねて使用したり、挟んだりしないで下さい。発熱や断線の原因となります。  
■コードの取り回しは、必ず取付要領書通りに行って下さい。  
■誤った取り付け・分解・改造等は故障・破損・感電・ショートの原因となります。  
そのような場合による損害の責任は一切負いかねます。  
■商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。  
■車両へ商品を取り付ける際は、左右1名づつ2名で作業を行なって下さい。  
■エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。  
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。  
■両面テープの接着剤促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。  
(PACプライマー-N200を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。  
■両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。  
■両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)等で完全に拭き取って下さい。  
■ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。  
(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行っても、プライマーの接着剤促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)
- 重要** ■フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。  
■LEDの明るさ・色に多少のバラつきがあります。あらかじめご了承ください。  
■経年変化により、LEDの明るさが多少変色する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。  
■両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。  
■取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。  
■取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。  
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)

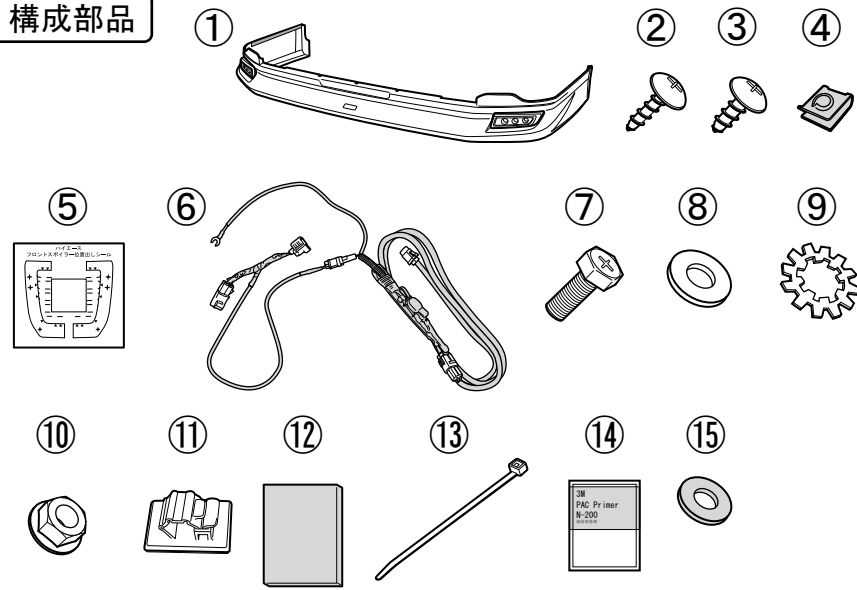


アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

# ハイース モデリスタ バージョン I

フロントスポイラー(デイルイト) (品番 : D2531-42510-XX)  
(品番 : MSD41-26005-XX/26006)

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	タッピングスクリュー (M4×12)	4
③	タッピングスクリュー (M5×12)	4
④	Uナット (M5)	4
⑤	位置出しシール	1
⑥	接続ハーネス	1
⑦	アース用ボルト (M6)	1
⑧	アース用ワッシャー (φ18)	1
⑨	歯付きワッシャー	1
⑩	フランジナット (M6)	1
⑪	ケーブルクリップ	1
⑫	両面テープ付きスポンジ	4
⑬	結束バンド	7
⑭	PACプライマーN200	1
⑮	ゴムワッシャー	2

**注意**

モデリスタ フロントグリル (D2533-42510) と同時装着の場合は  
フロントグリルを必ず先に取り付けて下さい。

**注意**

取り付け作業はマイナス端子を外してから行なって下さい。  
作業終了後は各システムの設定・確認を行なって下さい。  
(車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定/作業」を参照して下さい。)

本取付要領書は、次の車両に装着する際の取付手順を説明しています。  
年式・型式によって作業内容が異なりますので、該当する年式・型式の  
手順に従って取り付けを行なって下さい。

- ① ディーゼル車両 GDH20## 2022/4~
- ② ディーゼル車両 GDH20## 2018/1~2022/3
- ③ ディーゼル車両 KDH20## ~2017/12 、 ガソリン車両 TRH20##

※共通する作業箇所については①のイラストをベースに記載してあります。

(1) 車両部品の取り外し

- 1. 尿素タンクプロテクター . . . ①②
- 2. ウォッシャータンク . . . ①②③

(2) 配線 1 (ウォッシャータンク) . ①②③

配線 2 (車両側配策)

- 1. ①の時 . . . ①
- 2. ②の時 . . . ②
- 3. ③の時 . . . ③

配線 3 (アース) . . . ①②③

(3) 位置出しシールの貼付け . . . ①②③

(4) 仮組とプライマーの塗布 . . . ①②③

(5) 取付準備 . . . ①②③

(6) 取り付け 1 . . . ①②③

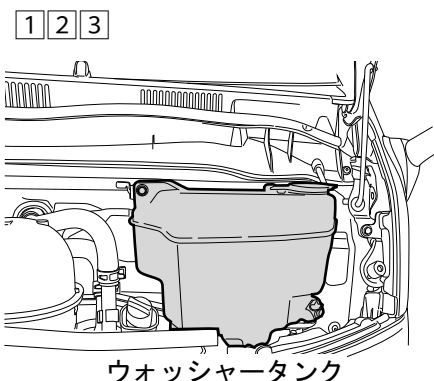
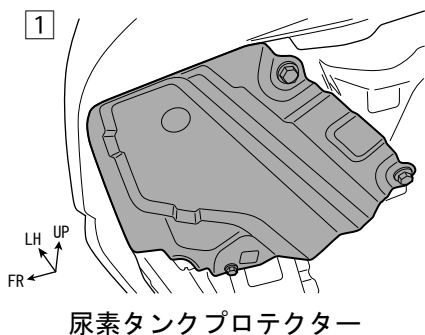
(7) 配線 4 (スポイラーとの結線)

- 1. ①の時 . . . ①
- 2. ②の時 . . . ②
- 3. ③の時 . . . ③

(8) 取り付け 2 . . . ①②③

# 取付手順

## (1) 車両部品の取り外し



1. 車両下側の尿素タンクプロテクターを外す。

### アドバイス

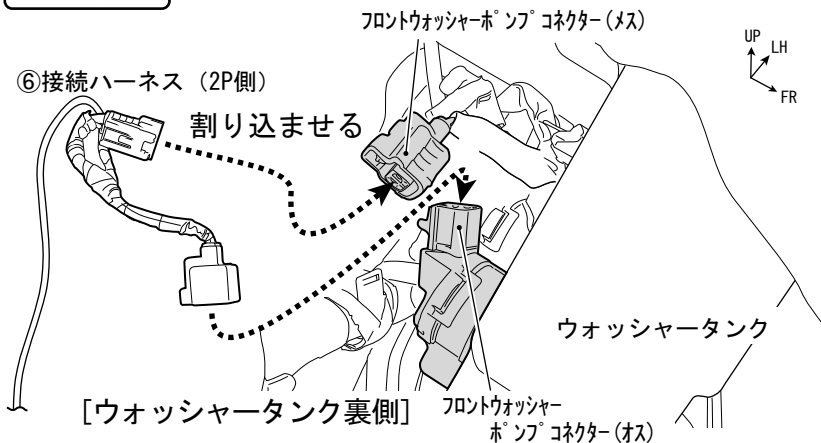
- ・取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。

2. ウォッシャータンクを外し、裏側にクリアランスを確保する為、ウォッシャータンクを斜め前にずらす。

### アドバイス

- ・取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。
- ・ウォッシャー液が出ないように注意して下さい。

## (2) 配線 1

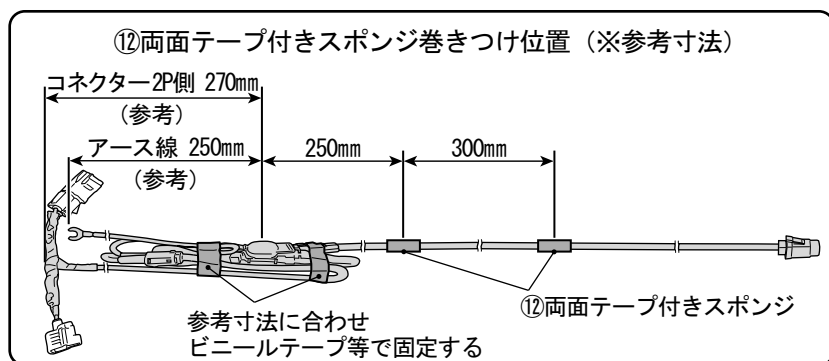


1. フロントウォッシャーポンプのコネクタを外し、⑥接続ハーネス2P側を割り込ませる。(左図参照)

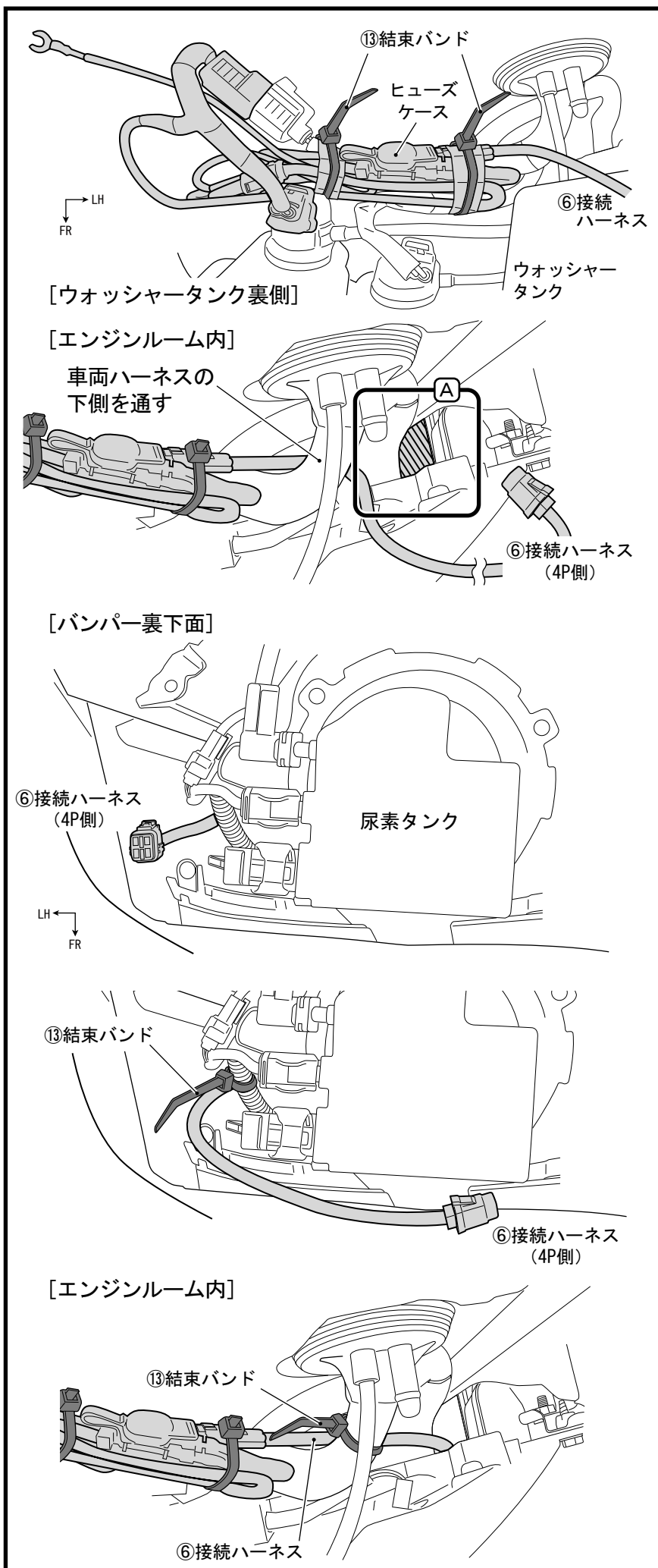
### アドバイス

- ・配線の取り回しには十分注意して下さい。

## (2) 配線 2-1



1. ⑥接続ハーネスを左図寸法でビニールテープ等で固定し、また、保護用の⑫両面テープ付きスポンジを巻きつける。(左図参照)



2. 割り込ませた⑥接続ハーネスのヒューズケース部をウォッシャータンク裏で車両の配線と共に束ね、⑬結束バンドで固定する。(左図参照)

**⚠ 注意**  
 周辺の部品・配管と干渉なき様注意して下さい。

**⚠ 注意**  
**必ず**ヒューズケースのキャップが確実に閉まっている事を確認して下さい。

【×】      【○】

3. ⑬結束バンドの余りを、ニッパー等で切り取る。(2箇所)

4. ⑥接続ハーネス4Pコネクター側を車両 **A**部の斜線部に通し、下から引き出す。

5. バンパー下側から見て、車両LHの尿素タンク部から4. で通したコネクター部分が出て来ている事を確認する。

6. ⑥接続ハーネスを車両の配線に⑬結束バンドで固定する。(左図参照)

**⚠ 注意**  
 周辺の部品・配管と干渉なき様注意して下さい。

7. ⑬結束バンドの余りを、ニッパー等で切り取る。(1箇所)

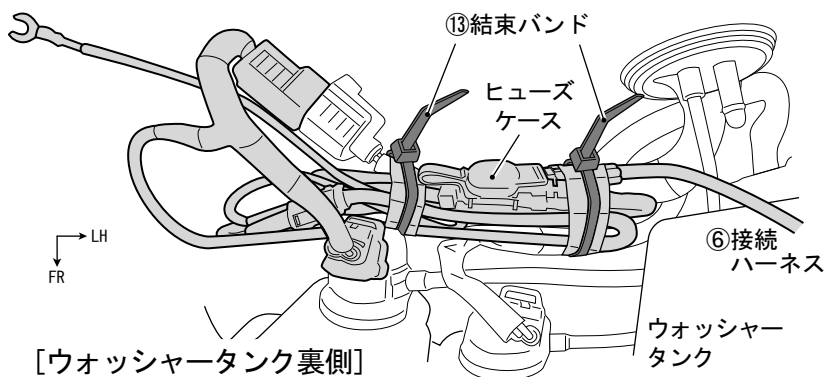
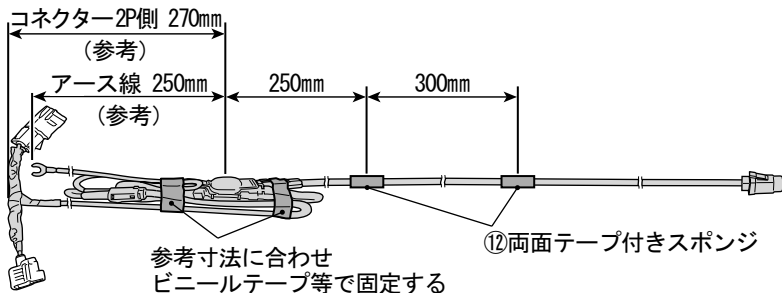
8. 上部の⑥接続ハーネスを車両の配線に⑬結束バンドで固定する。(左図参照)

9. ⑬結束バンドの余りを、ニッパー等で切り取る。(1箇所)

(2) 配線 2-2

2

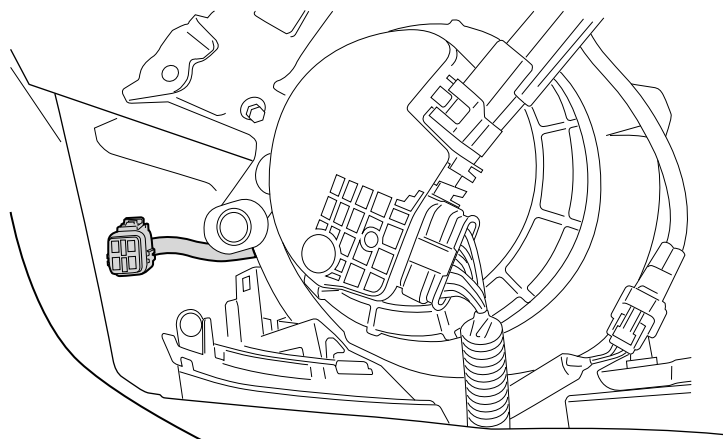
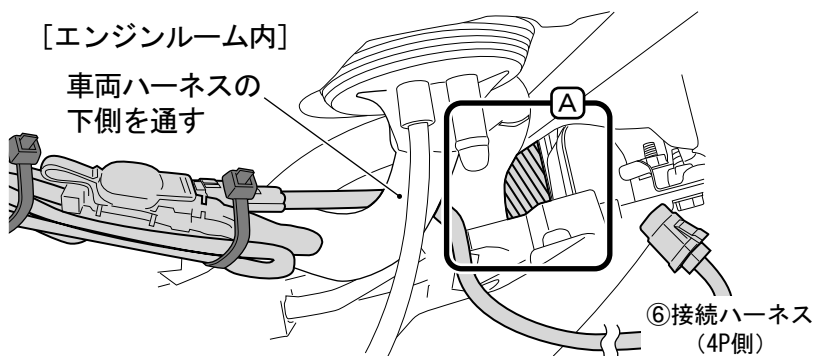
⑫両面テープ付きスポンジ巻きつけ位置 (※参考寸法)



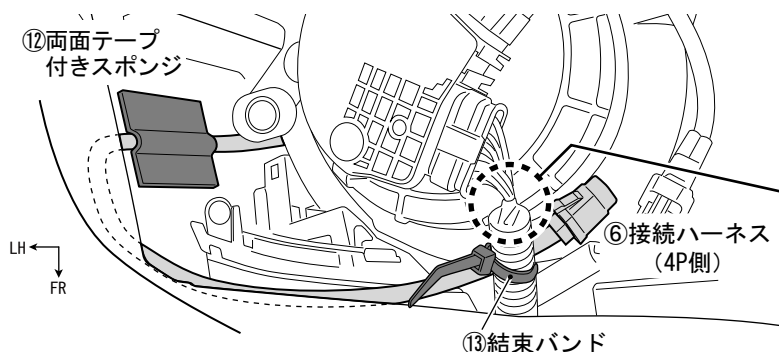
[ウォッシャータンク裏側]

[エンジンルーム内]

車両ハーネスの下側を通す



⑫両面テープ付きスポンジ



1. ⑥接続ハーネスを左図寸法でビニールテープ等で固定し、また、保護用の⑫両面テープ付きスポンジを巻きつける。(左図参照)

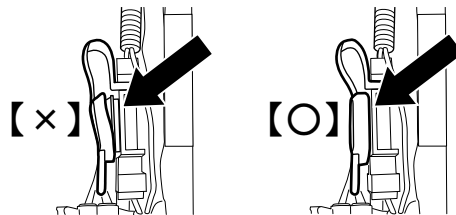
2. 割り込ませた⑥接続ハーネスのヒューズケース部をウォッシャータンク裏で車両の配線と共に束ね、⑬結束バンドで固定する。(左図参照)

⚠ 注意

周辺の部品・配管と干渉なき様注意して下さい。

⚠ 注意

必ずヒューズケースのキャップが確実に閉まっている事を確認して下さい。



3. ⑬結束バンドの余りを、ニッパー等で切り取る。(2箇所)

4. ⑥接続ハーネス4Pコネクター側を車両A部の斜線部に通し、下から引き出す。

5. バンパー裏側を脱脂し、⑫両面テープ付きスポンジで⑥接続ハーネスを固定する。(左図参照)

6. ⑥接続ハーネスをバンパー裏側に沿わせて車両ハーネスの上側を通し⑬結束バンドで固定する。(左図参照)

⚠ 注意

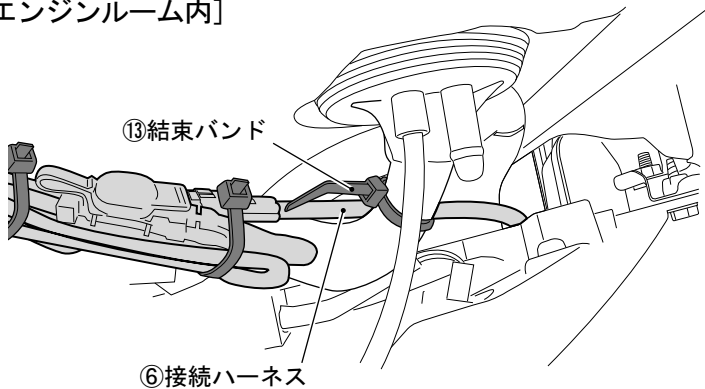
周辺の部品・配管と干渉なき様注意して下さい。

⚠ 注意

素線部分に結束バンドをかけない様注意して下さい。

7. ⑬結束バンドの余りを、ニッパー等で切り取る。(1箇所)

[エンジンルーム内]



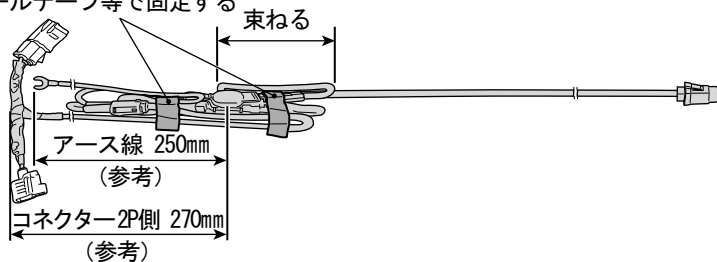
8. 上部の⑥接続ハーネスを車両の配線に⑬結束バンドで固定する。(左図参照)
9. ⑬結束バンドの余りを、ニッパー等で切り取る。(1箇所)

(2) 配線 2-3

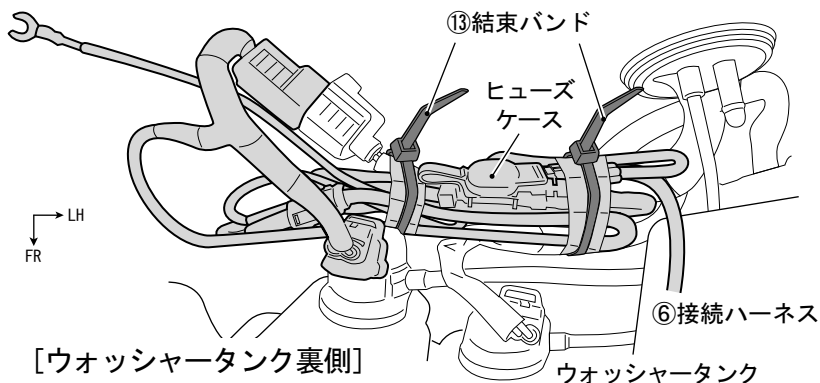
3

⑥接続ハーネス4P側余長分(約300mm)を束ねる(※参考寸法)

参考寸法に合わせ  
ビニールテープ等で固定する



1. ⑥接続ハーネスを左図寸法でビニールテープ等で固定する。(左図参照)



[ウォッシャータンク裏側]

ウォッシャータンク

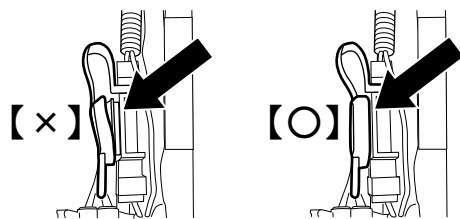
2. 割り込ませた⑥接続ハーネスのヒューズケース部をウォッシャータンク裏で4P側の余長分と共に、車両の配線に束ね⑬結束バンドで固定する。(左図参照)

**注意**

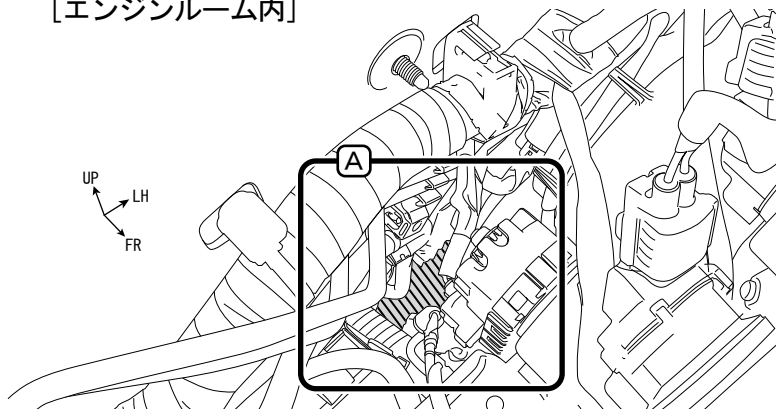
周辺の部品・配管と干渉なき様注意して下さい。

**注意**

必ずヒューズケースのキャップが確実に閉まっている事を確認して下さい。

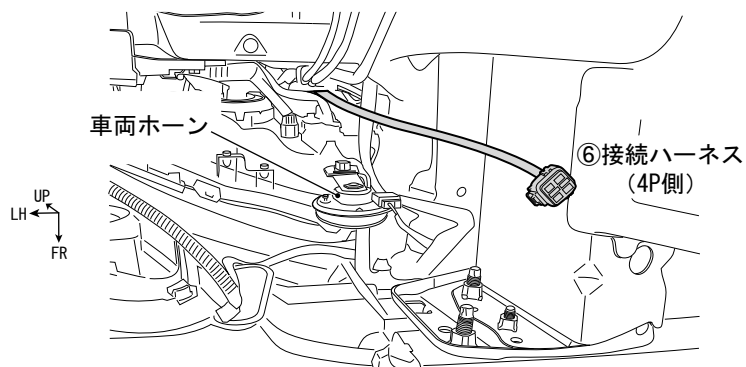


[エンジンルーム内]

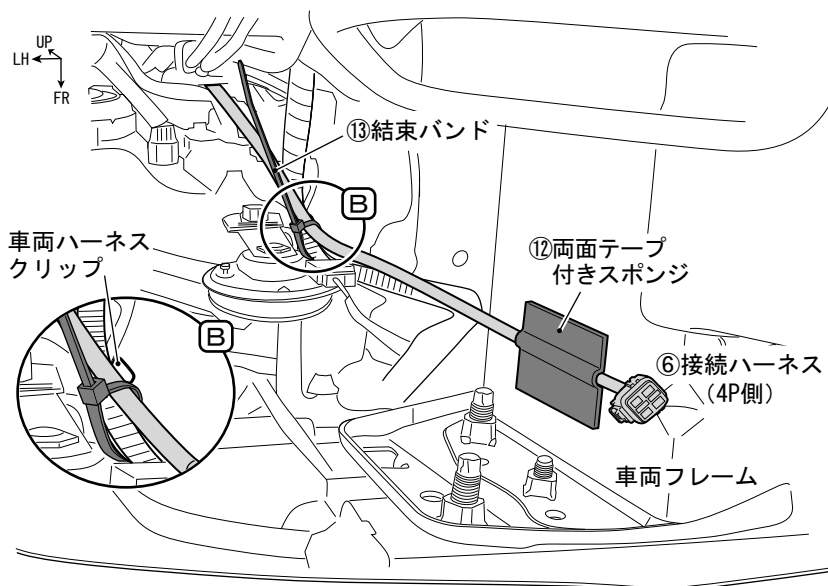


3. ⑬結束バンドの余りを、ニッパー等で切り取る。(2箇所)
4. ⑥接続ハーネス4Pコネクタ側を車両 **A** 部の斜線部に通し、下から引き出す。

## [バンパー裏下面]



## [バンパー裏下面]



5. バンパー下側から見て、車両LHホーン部から3. で通したコネクター部分が出て来ている事を確認する。

6. 車両ホーン部で車両ハーネスと車両を固定している部分(車両ハーネスクリップ)で⑥接続ハーネスと車両ハーネスを⑬結束バンドで固定する。  
(左図B部参照)

7. 車両フレームを脱脂し、⑫両面テープ付きスポンジで⑥接続ハーネスを固定する。(左図参照)

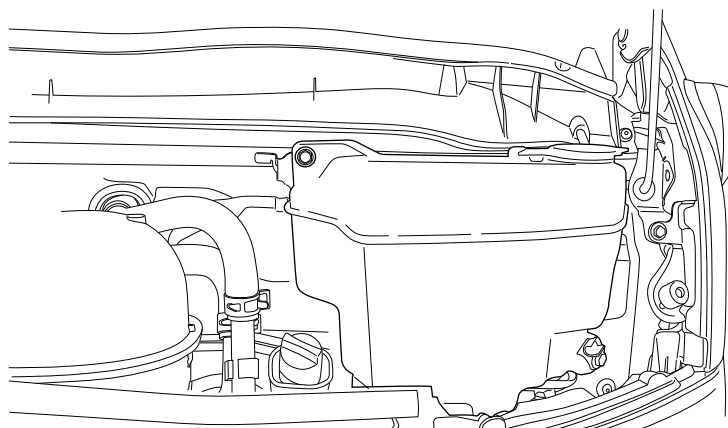
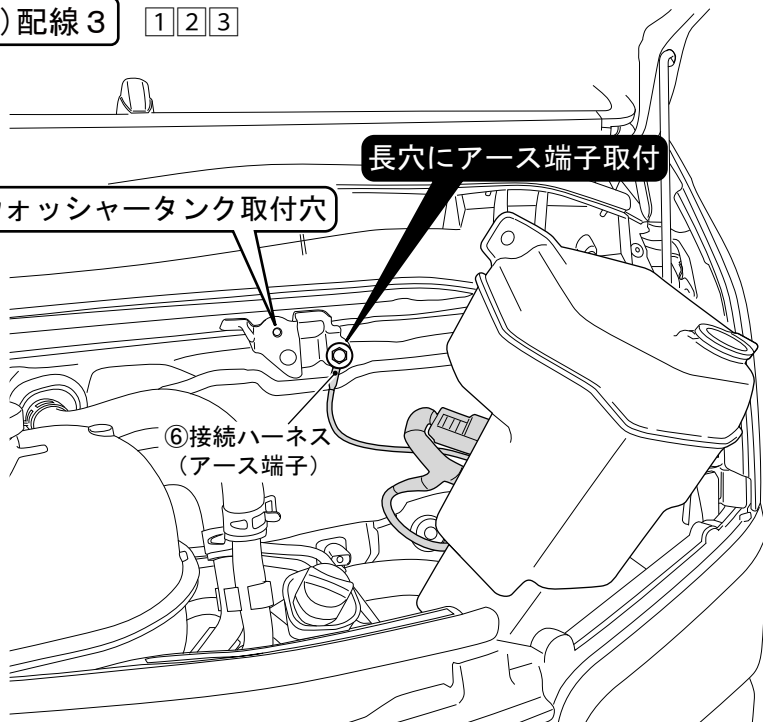
8. ⑬結束バンドの余りを、ニッパー等で切り取る。(1箇所)

## (2) 配線 3

1 2 3

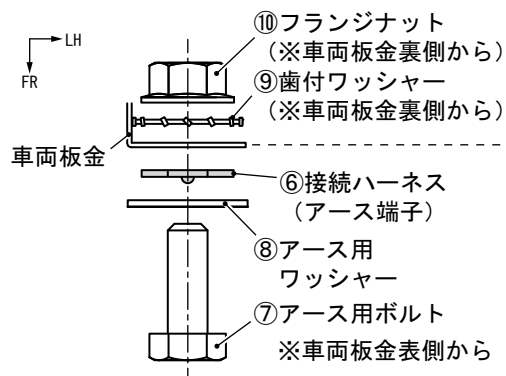
ウォッシャータンク取付穴

長穴にアース端子取付

⑥ 接続ハーネス  
(アース端子)

1. ウォッシャータンク取付穴の向かって右側の車両板金の長穴に、⑥接続ハーネスのアース端子を取り付ける。

※下図の順序でアース端子を取り付けて下さい。



[取付図]



※ボディアースが取れている事を確認して下さい。

2. ウォッシャータンクを元に戻す。

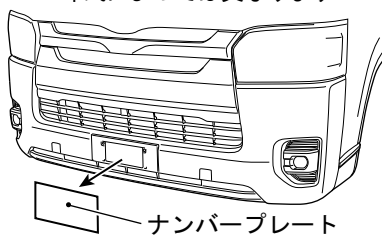
**⚠ 注意**

配線の挟み込みなき様注意して下さい。

**(3) 位置出しシールの貼付け**

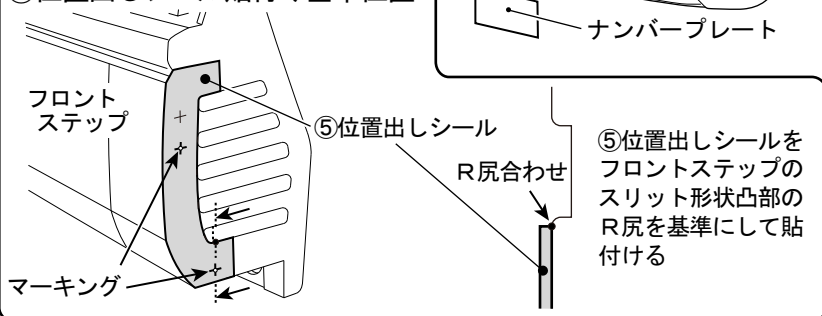
1 2 3

※車両フォグランプの形状は年式によっては異なります



LH図示 ※RHも同様に

**⑤位置出しシール貼付け基準位置**



1. ナンバープレートを取り外す。
2. フェンダーアーチ部に⑤位置出しシールを貼付ける。(左図参照)  
※バージョン I (D2531-42510/42520-XX)  
(MSD41-26005-XX/26006)  
(MSD41-26007-XX/26008)  
バージョン II (D2531-42610-XX)  
(MSD41-26001-XX/26002)  
の品番違いによる穴位置の違いに注意して下さい。

3. ⑤位置出しシールの穴位置を確認し、取付穴位置をケガキ針ないしは画鋸を用いてマーキングをする。
4. ⑤位置出しシールを剥がす。

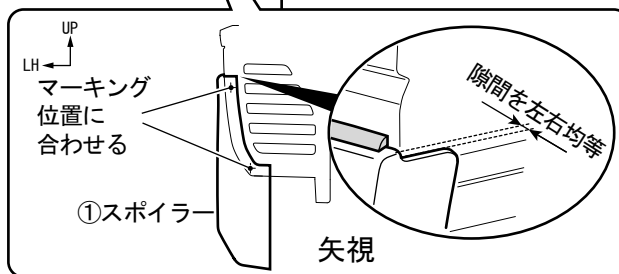
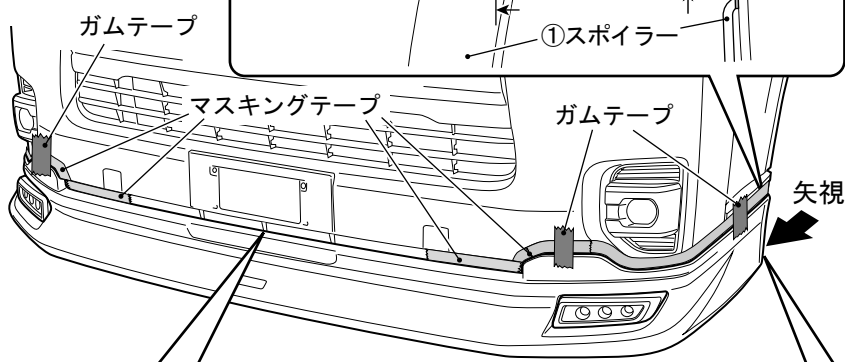
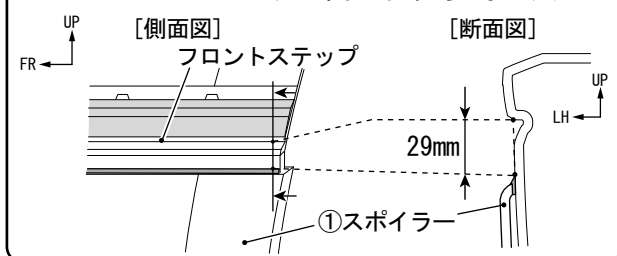
**(4) 仮組とプライマーの塗布**

1 2 3

LH図示

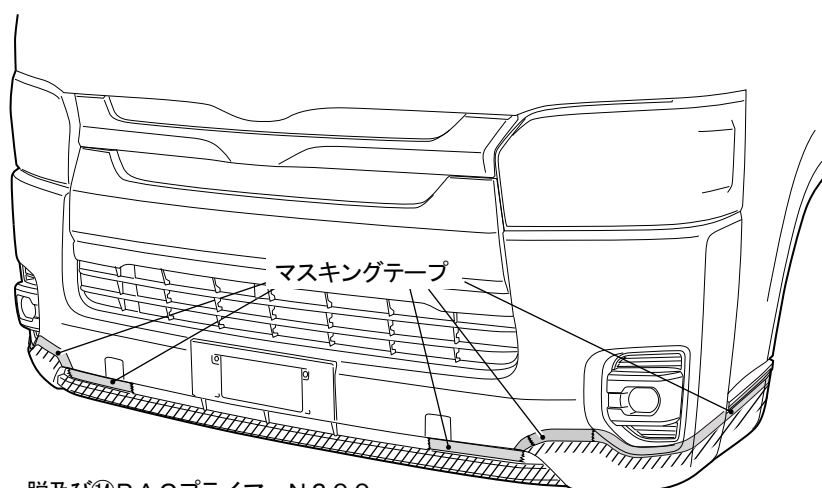
※RHも同様に

**フロントスポイラー高さ位置参考寸法**



1. ①フロントスポイラー (以下スポイラーと省略) を車両バンパーにかぶせ、フェンダーアーチ部エンドモール先端を指示寸法に合わせ、フェンダーアーチの隙間を左右均等にし、ガムテープ等で仮固定をする。
2. 取り付け位置を決め、①スポイラーに貼り付けてあるエンドモール上端に合わせマス킹テープを貼り付ける。(左図参照)

3. ①スポイラー裏側のLEDハーネスと⑥接続ハーネスをつなぐ。
4. バッテリーマイナス端子を、一時的につなぎ、IGをオンにして、LEDの点灯、ウォッシャーの作動を確認する。  
※点灯、作動しない場合はアース端子取付部を確認して下さい。
5. バッテリーマイナス端子を外す。



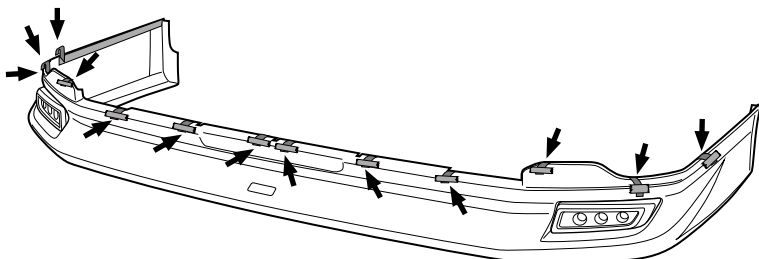
脱及び⑭PACプライマーN200  
塗布範囲(斜線部)

6. LEDハーネスコネクタを外してから、  
①スポイラーを一旦取り外し、両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を脱脂する。
7. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に  
⑭PACプライマーN200を塗布する。

**アドバイス**

- ・⑭PACプライマーN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取って下さい。
- ・⑭PACプライマーN200塗布後は、常温で**10分間以上**放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

**(5) 取付準備** 1 2 3



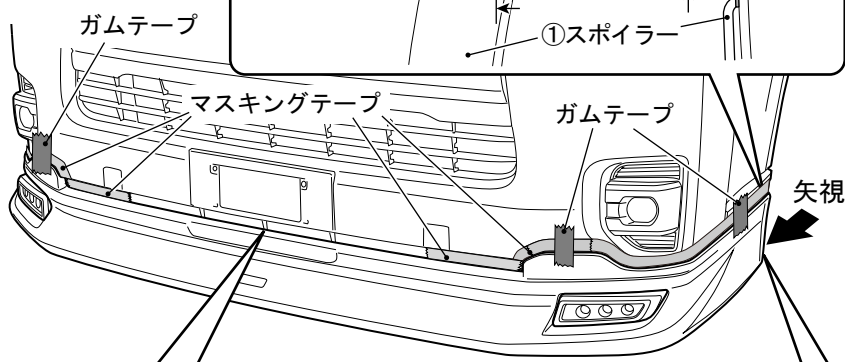
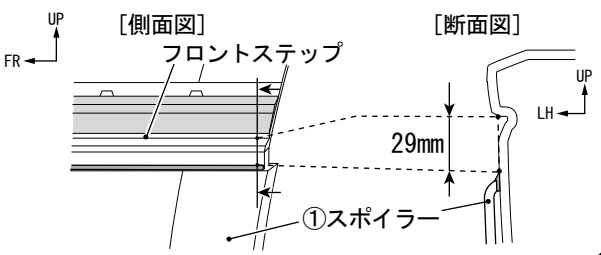
1. ①スポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

**(6) 取り付け1** 1 2 3

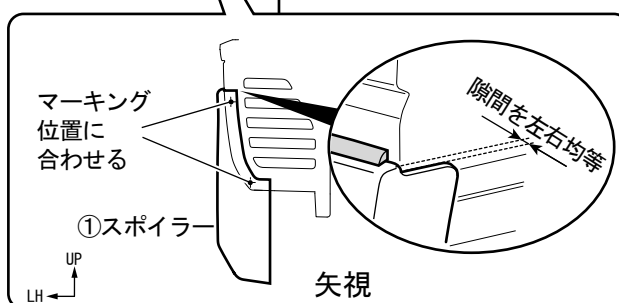
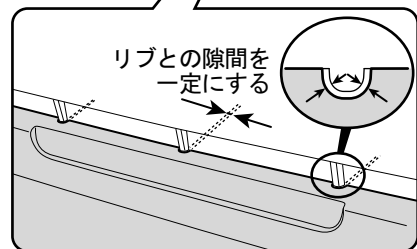
**LH図示**

※RHも同様に

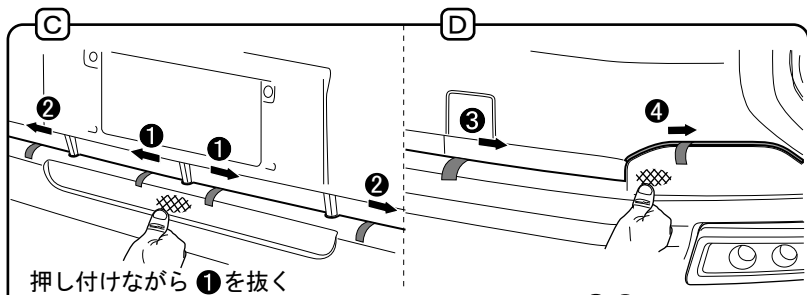
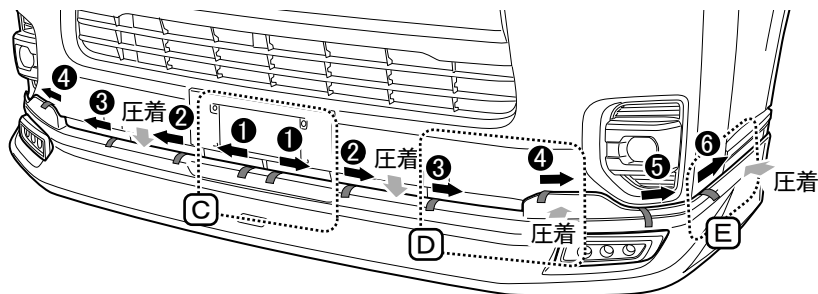
**フロントスポイラー高さ位置参考寸法**



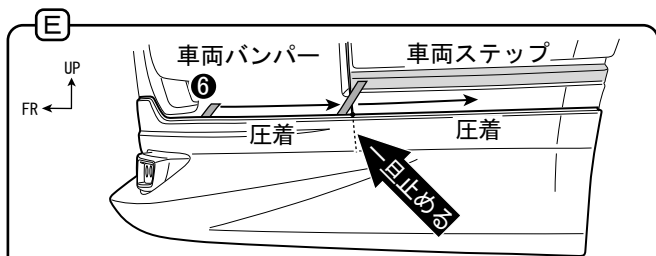
1. ①スポイラーを車両バンパーにかぶせ、マスキングテープ下側とエンドモール上端を合わせて、ガムテープ等で仮固定し、位置を決める。  
※フロントステップ フェンダーアーチ部の寸法を再確認する。



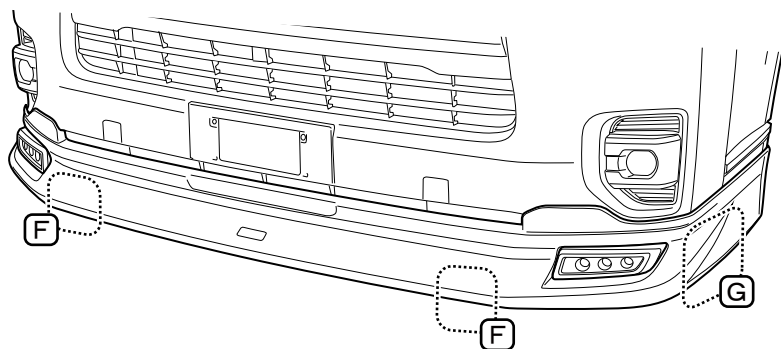
※離型紙を引き抜く順序（左右均等に）



取り付け位置がズレ無い様、上記の斜線位置を押し付けながら ①③④を引き抜いて下さい。

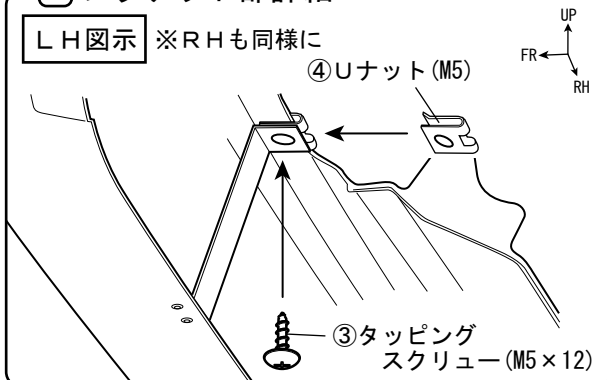


バンパーとステップとの境目で離型紙を一旦止め、バンパー部を圧着し、残りを再び引き抜き、圧着する。



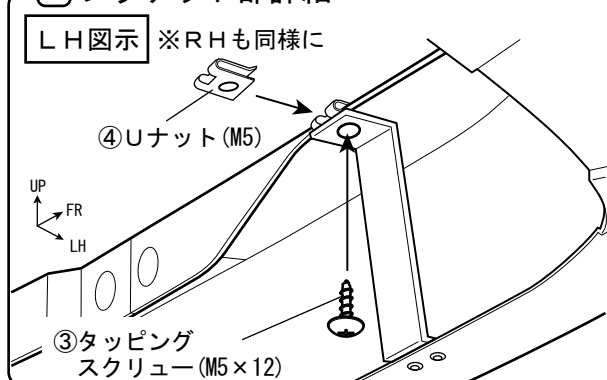
F ブラケット部詳細

LH図示 ※RHも同様に



G ブラケット部詳細

LH図示 ※RHも同様に



2. 左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認して①から順に両面テープ離型紙を中央部から矢印の方向に引き抜き、圧着する。

※①③④の離型紙を引き抜く際は①スポイラーのC D部斜線位置を押し付けながら引き抜いて下さい。

※⑥の離型紙を引き抜く際は車両バンパーとステップの境目で一旦止め、バンパー部を圧着した後、残りの離型紙を引き抜いて圧着して下さい。

※離型紙を引き抜く際に、①スポイラーの取り付け高さ、隙間が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。バンパーに付かない様に気を付けて作業をして下さい。
- ・離型紙が途中で切れない様に、①スポイラーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行って下さい。

3. 全てのマスキングテープを剥がす。

4. ④Uナット (M5) を①スポイラー下面のブラケット取付穴に合わせる様に車両バンパーに差し込み、取付穴の中心を車両バンパーにマーキングする。(左図参照)

5. 下面ブラケットの取付穴とマーキング位置を合わせ、③タッピングスクリュー (M5×12) で仮締めする。(左図参照)

アドバイス

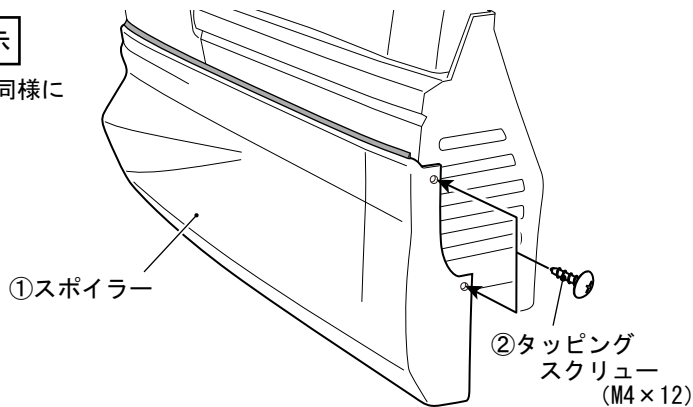
下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋸を用いて行って下さい。

アドバイス

タッピングスクリューを締め付ける際は、電動ドライバーを使用しないで下さい。

LH図示

※RHも同様に



6. フェンダーアーチ部を②タッピングスクリュー (M4×12) で4箇所仮締めする。

👉 アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋸を用いて行って下さい。

👉 アドバイス

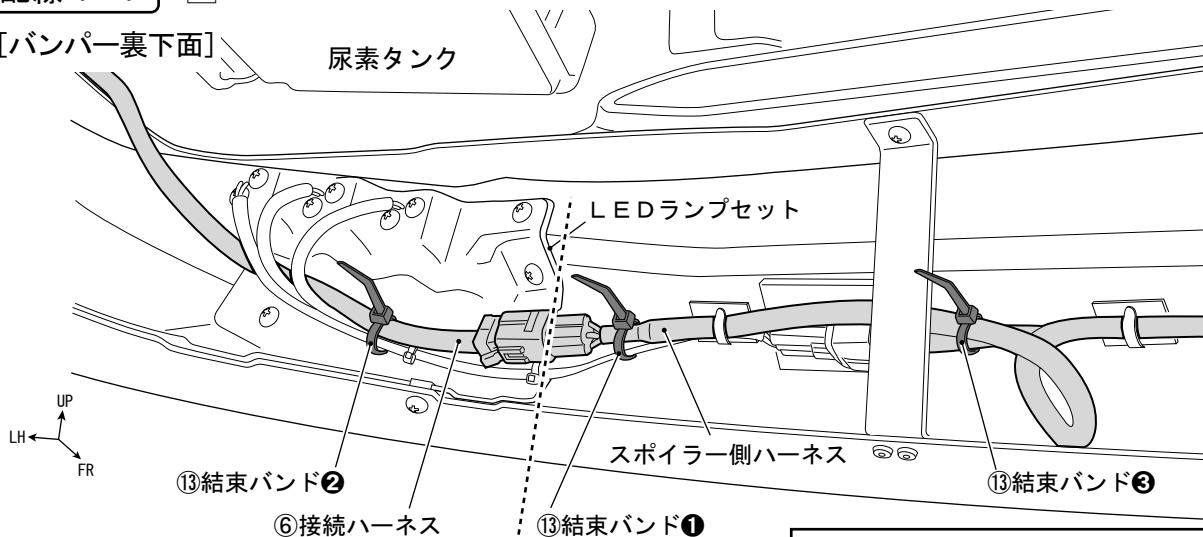
タッピングスクリューを締め付ける際は、電動ドライバーを使用しないで下さい。

7. 両面テープ貼り付け位置を再圧着する。

(7) 配線 4-1

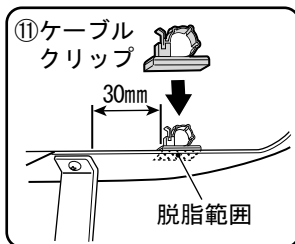
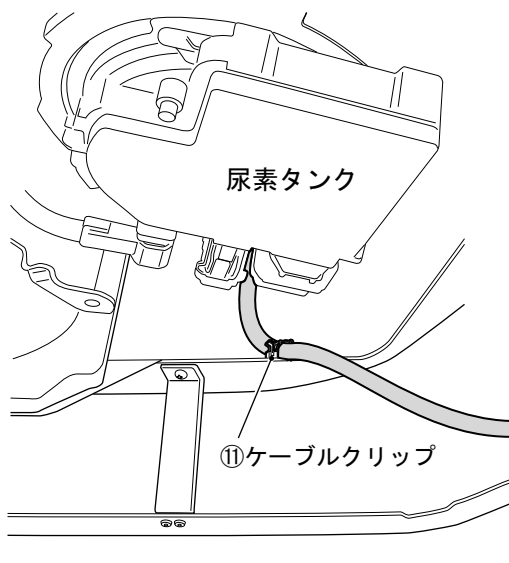
1

[バンパー裏下面]



スポイラー側ハーネスのコネクター段差位置をLEDランプセット端に合わせる

[バンパー裏下面]



1. ①スポイラー側のハーネスと車両側に設置した⑥接続ハーネスをつなぐ。
2. つないだコネクターを、LEDランプセットの端に合わせ⑥接続ハーネスとスポイラー側ハーネスを⑬結束バンド①②でLEDランプセットハーネスに固定する。スポイラーハーネスの余長をまとめ⑬結束バンド③で束ねる。(上図参照)

⚠️ 注意

周辺の部品・配管と干渉なき様注意して下さい。

3. ⑬結束バンドの余りを、ニッパー等で切り取る。(3箇所)
4. バンパー裏側を脱脂後、⑭PACプライマー-N200を塗布し⑪ケーブルクリップを貼り付け、⑥接続ハーネスを固定する。(左図参照)

👉 アドバイス

両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行なって下さい。

👉 アドバイス

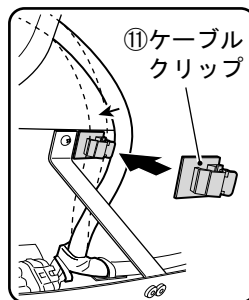
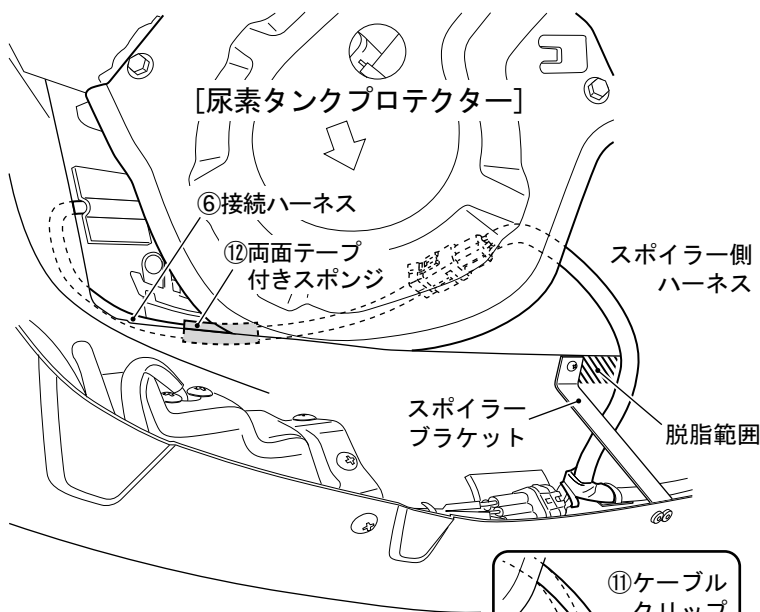
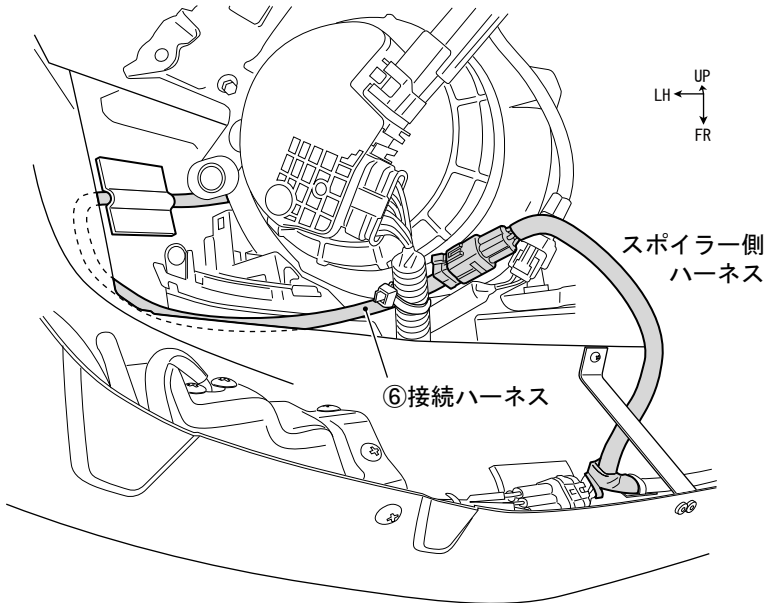
- ・⑭PACプライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、塗装面に付着したプライマーはイソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取って下さい。
- ・塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

5. 尿素タンクプロテクターを元に戻す。
6. バッテリーマイナス端子をつなぐ。
7. IGをオンにし、LEDが点灯している事を確認する。

## (7) 配線 4-2

2

[バンパー裏下面]




1. ①スポイラー側のハーネスと車両側に設置した⑥接続ハーネスをつなぐ。

2. 尿素タンクプロテクターを元に戻す。

3. ⑥接続ハーネスの尿素タンクプロテクターと接触する箇所の保護用に、⑫両面テープ付きスポンジを巻きつける。(左図参照)

4. 車両バンパー下面(スポイラーブラケット横:車両中央寄り)を脱脂する。

5. 脱脂したところに⑪ケーブルクリップを貼り付け、①スポイラー側からのハーネスを固定する。

 **アドバイス**

両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行なって下さい。

 **注意**

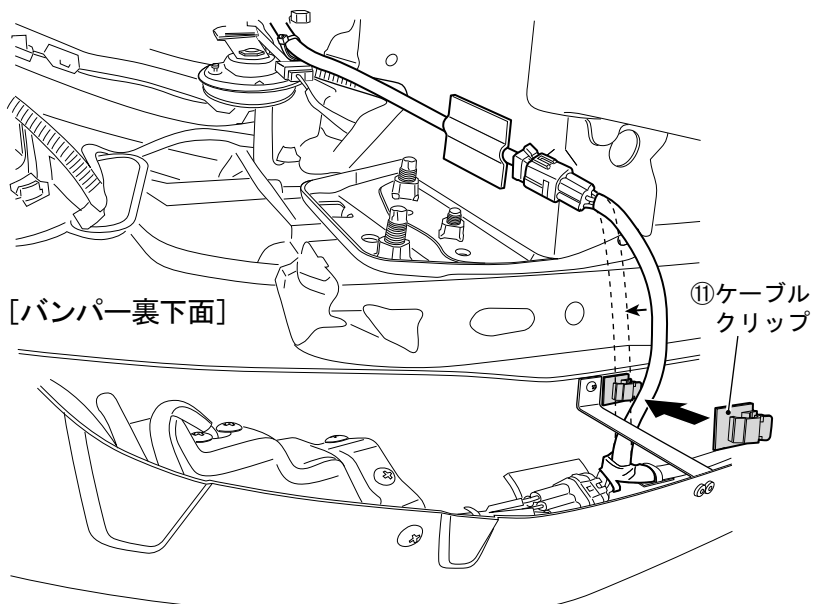
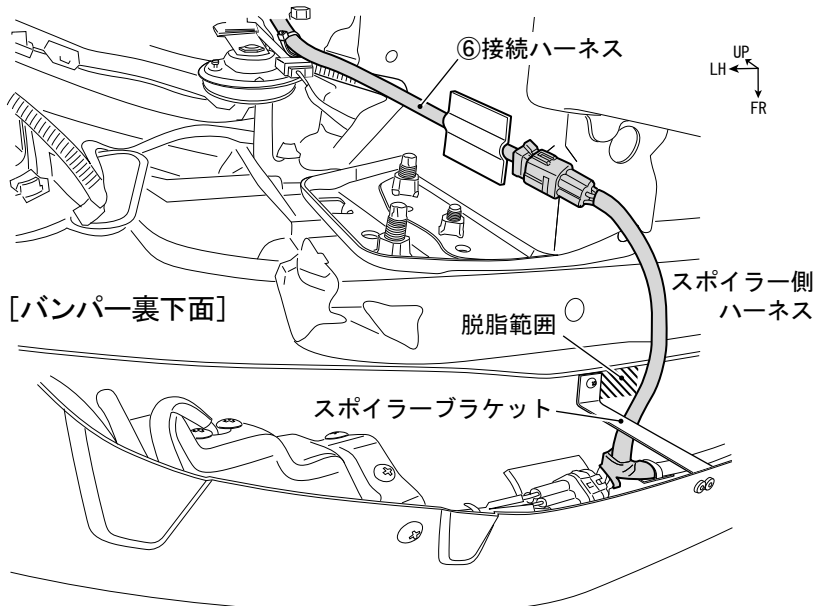
周辺の部品・配管と干渉なき様注意して下さい。

6. バッテリーマイナス端子をつなぐ。

7. IGをオンにし、LEDが点灯している事を確認する。

(7) 配線 4-3

3



1. ①スポイラー側のハーネスと車両側に設置した⑥接続ハーネスをつなぐ。
2. 車両バンパー下面(スポイラーブラケット横:車両中央寄り)を脱脂する。
3. 脱脂したところに⑪ケーブルクリップを貼り付け、①スポイラー側からのハーネスを固定する。

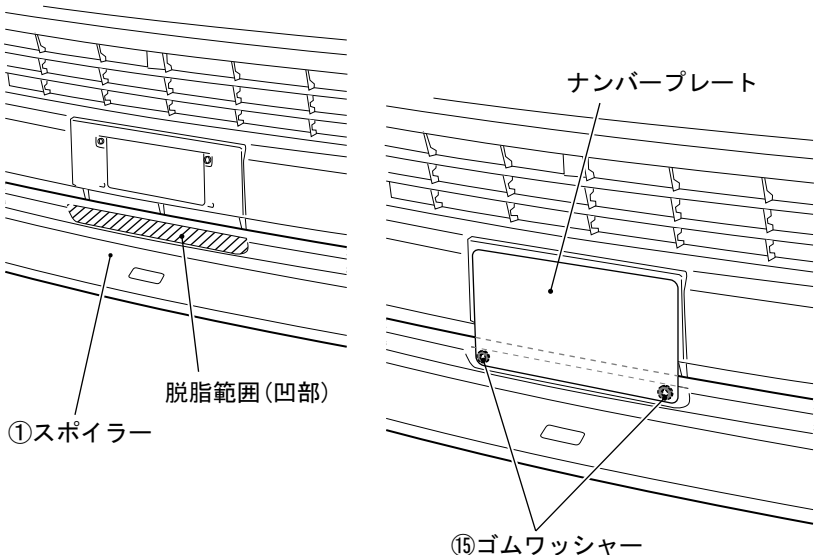
👉 **アドバイス**

両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度で行なって下さい。

4. バッテリーマイナス端子をつなぐ。
5. IGをオンにし、LEDが点灯している事を確認する。

(8) 取り付け 2

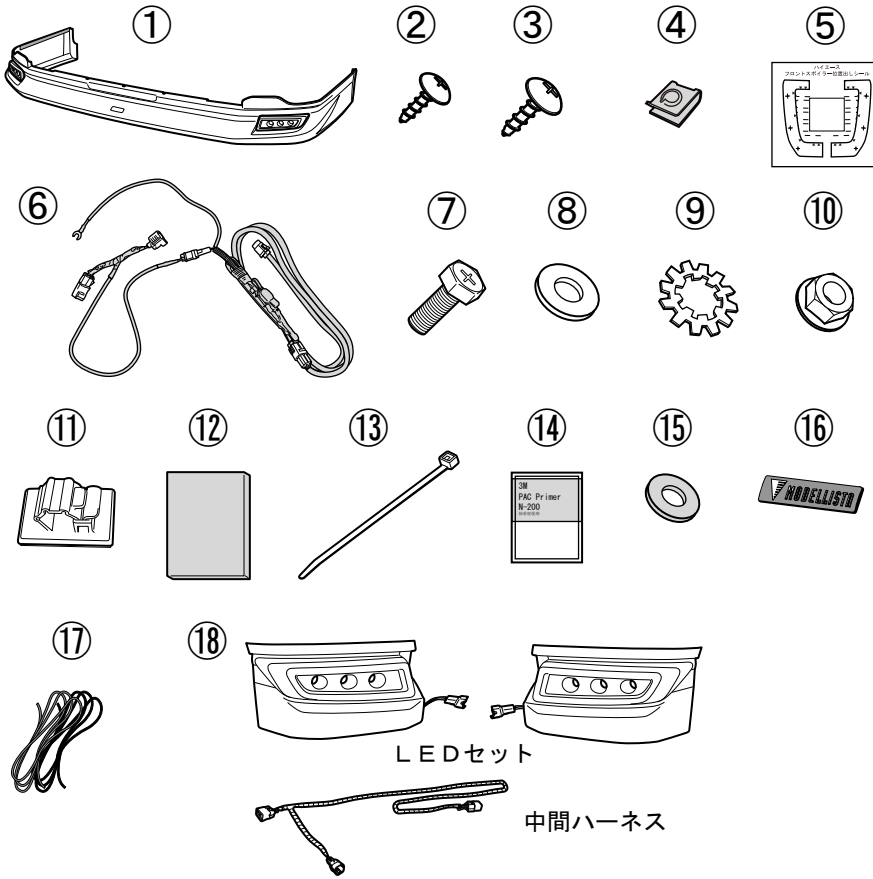
1 2 3



1. ①スポイラーのナンバープレート部(凹部)を脱脂する。
2. ナンバープレートで隠れる位置に⑮ゴムワッシャーを貼り付ける。(2箇所)
3. ナンバープレートを取り付ける。
4. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めを本締めする。(8箇所)

# フロントスポイラー素地品の塗装手順

## 構成部品



\* フロントスポイラーに組込まれています

No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	タッピングスクリュー (M4×12)	4
③	タッピングスクリュー (M5×12)	4
④	Uナット (M5)	4
⑤	位置出しシール	1
⑥	接続ハーネス	1
⑦	アース用ボルト (M6)	1
⑧	アース用ワッシャー (φ18)	1
⑨	歯付きワッシャー	1
⑩	フランジナット (M6)	1
⑪	ケーブルクリップ	1
⑫	両面テープ付きスポンジ	4
⑬	結束バンド	7
⑭	PACプライマーN200	1
⑮	ゴムワッシャー	2
⑯	エンブレム	1
⑰	エンドモール (S)	グレー:1 ブラック:1
⑱	LEDセット *フロントスポイラーに組込済み (中間ハーネス込)	1 set

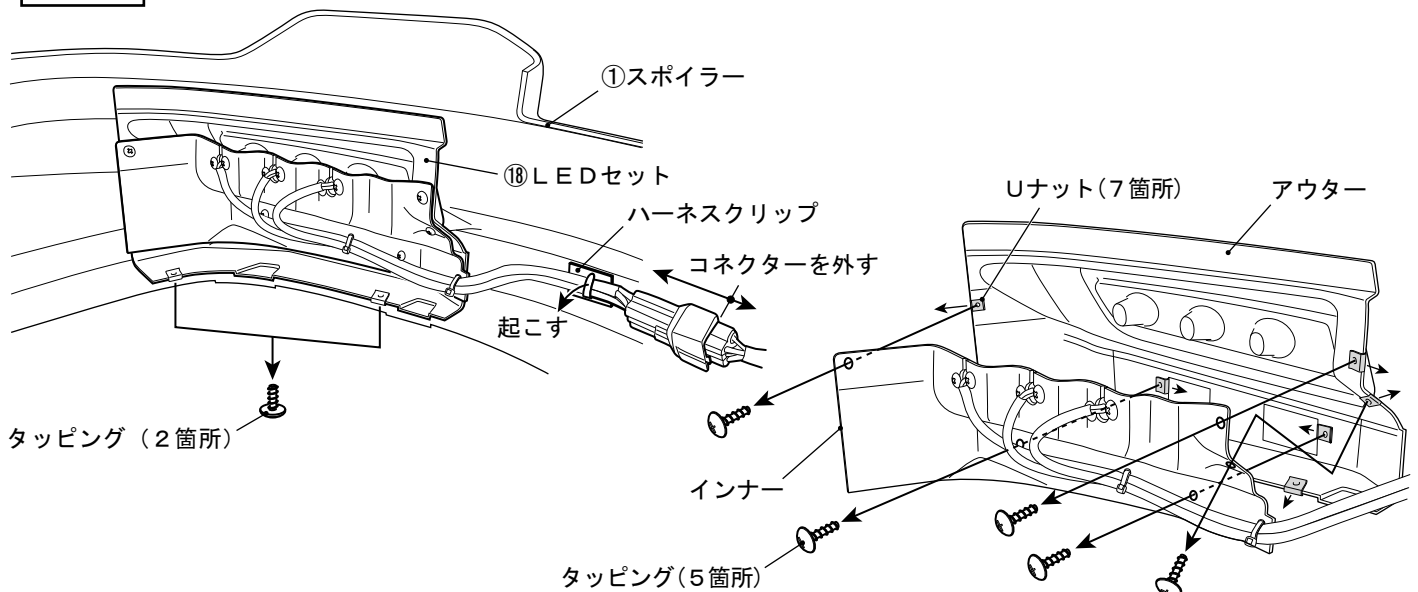
## ⑰エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
058	ホワイト	グレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	グレー
1E7	シルバーマイカメタリック	グレー
209	ブラックマイカ	ブラック
220	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン	ブラック
599	ライトイエロー	グレー
8P4	ダークブルーマイカメタリック	ブラック

## 部品の取り外し

1. ハーネスクリップを起し、固定されているハーネスを外し、コネクタを外す。
2. ①スポイラー下部のタッピングを外し (2箇所)、⑱LEDセットを外す。
3. ⑱LEDセットのインナーとアウターを止めているタッピング (5箇所)、Uナット (7箇所)を外し、インナーとアウターを分ける。

LH図示 ※RHも同様に



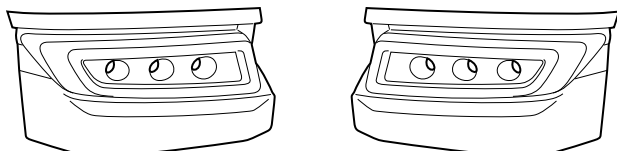
**塗装作業**

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は>ABS<です。

4. 上塗り塗装を行なう。  
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。  
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

※LEDアウターはブラック<202>で塗装して下さい。



**部品の取付け**

1. ①スポイラー、⑱LEDアウターの塗装後、アウターの取付穴にUナットを差込み、アウターとインナーを合わせ、タッピングで固定する。
2. ①スポイラーの両面テープ貼付け部（下記斜線部）を脱脂し、⑭PACプライマーN200を塗布する。

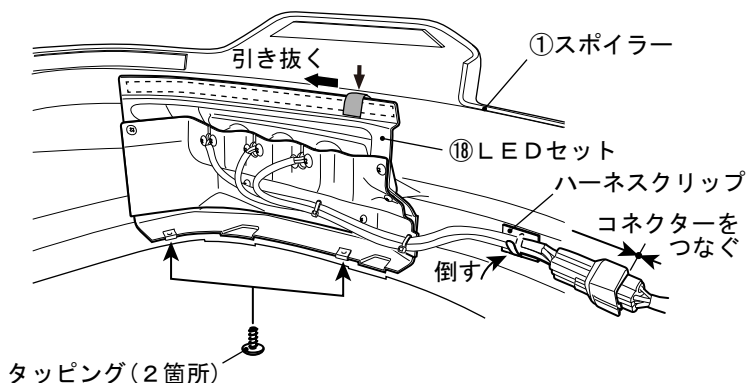
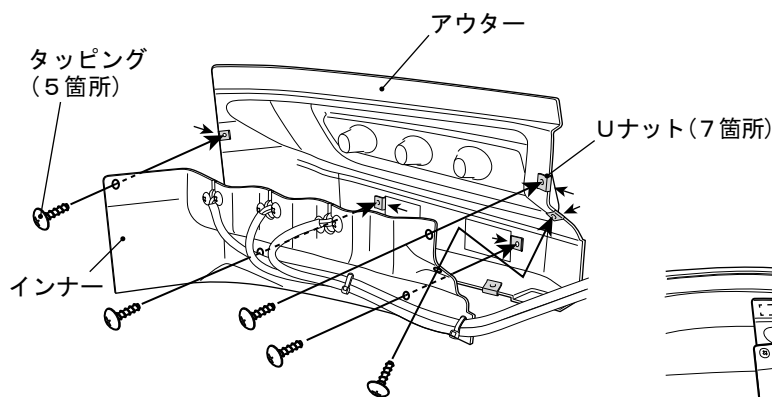
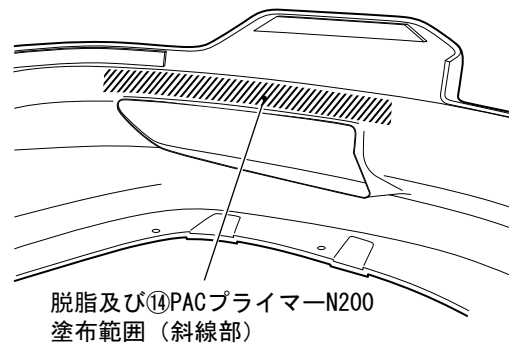
**アドバイス**

- ・⑭PACプライマーN200は①スポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑭PACプライマーN200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

LH図示

※RHも同様に

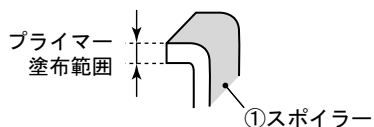
3. 両面テープ離型紙を一部剥がし、裏面にマスキングテープで貼り付ける。
4. ⑱LEDセットを①スポイラーに合わせ、下側をタッピングで仮固定する。
5. コネクターをつなぎ、ハーネスクリップを倒してハーネスを固定する。
6. 両面テープの離型紙を剥がし、圧着する。
7. ①スポイラー下面のタッピングを本締めする。



## エンドモール・エンブレムの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑰エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑭PACプライマー-N200を塗布する。

### PACプライマー-N200塗布範囲



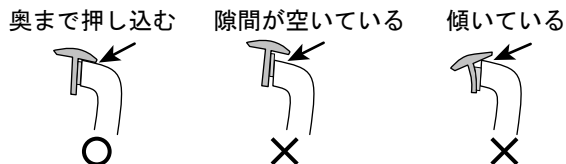
### アドバイス

- ・⑭PACプライマー-N200は①スポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑭PACプライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取って下さい。
- ・⑭PACプライマー-N200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑰エンドモールを貼り付ける。

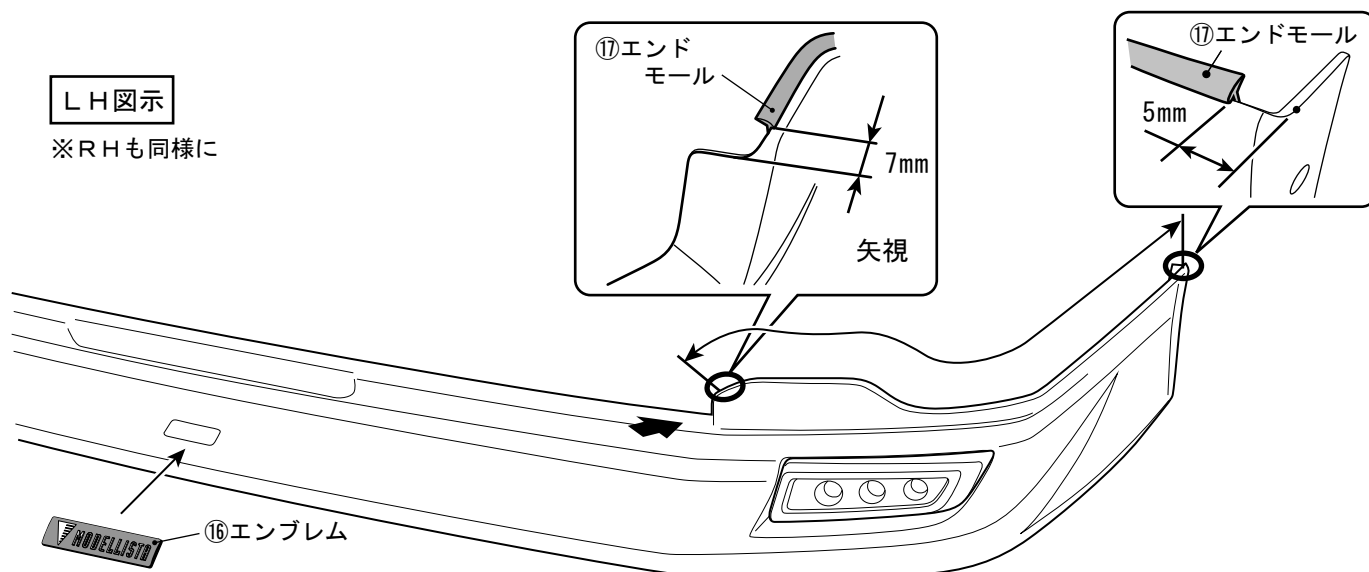
### アドバイス

- ・エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。
- ・エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- ・貼り付け後、十分に圧着して下さい。



### LH図示

※RHも同様に

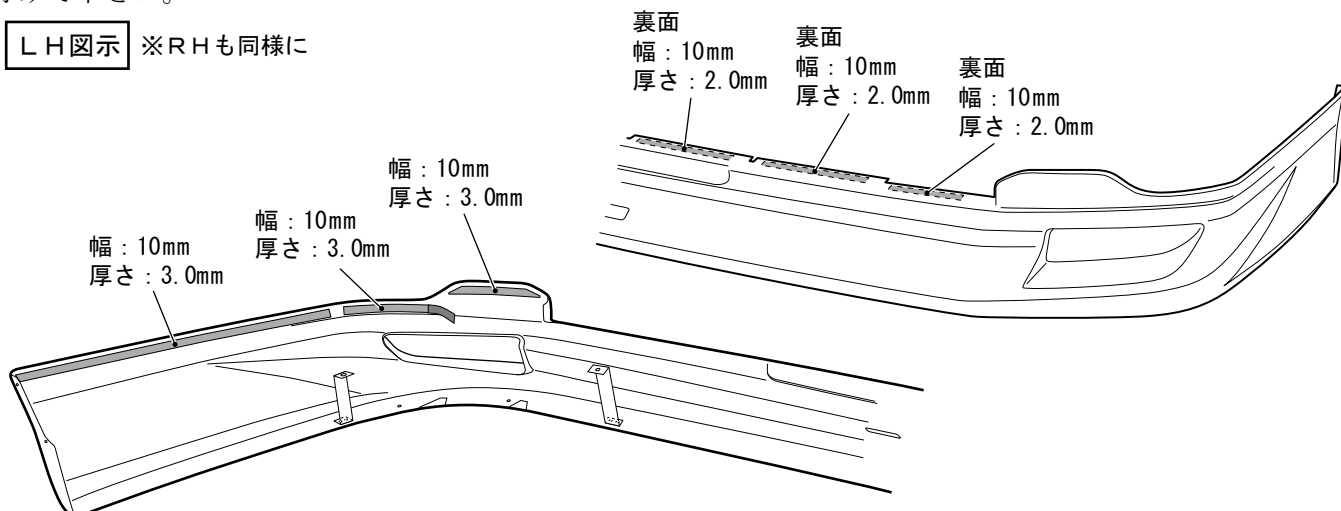


3. ①スポイラー中央のエンブレム貼付け部を脱脂し、⑰エンブレムを貼り付ける。

## 補修キット両面テープ貼り付け

補修キットを使用してフロントスポイラーの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。

LH図示 ※RHも同様に



# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

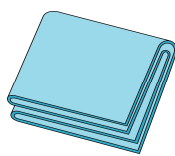


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



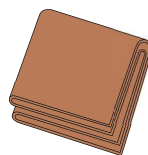
脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス



WET 用  
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールを痛めるため  
使用しないこと

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

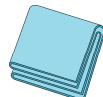
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

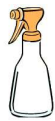


水拭き用バケツ



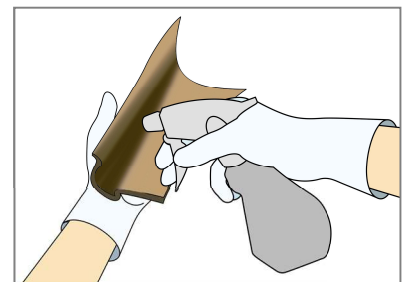
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

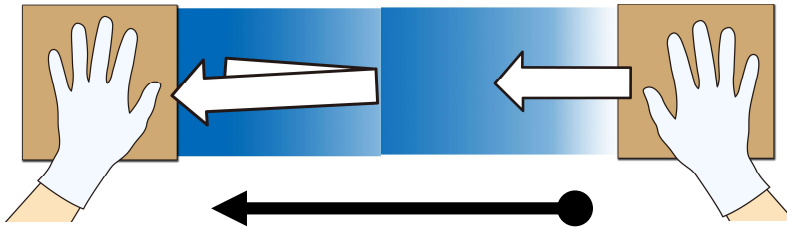
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

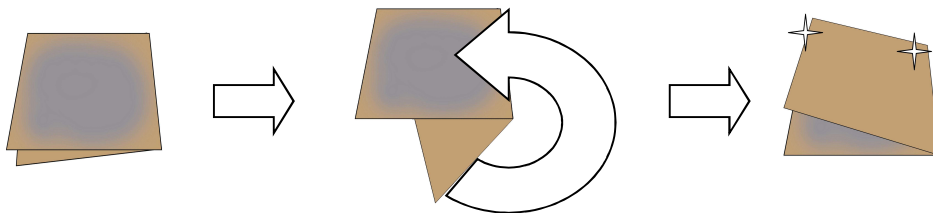
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。